

平成29年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：健康福祉部 保健医療推進室 地域医療推進課

901

1. 基本情報

施設名	阪神北広域こども急病センター		
施設の設置目的	休日及び夜間において、伊丹市、宝塚市、川西市及び猪名川町の小児の患者に対して応急の診療を行う。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標：健康で安心して暮らせる地域保健・医療 主要施策：安心できる地域の医療サービス		
指定管理者の名称	公益財団法人 阪神北広域救急医療財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市昆陽池2-10		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	年間受診割合 (単位：%)	
	指標の意味	こども急病センター診療時間の同センター及び3市1町の市町域内の公立医療機関(小児科)の全受診者(一次医療)に占める同センターの受診割合	
	今年度の目標値	90	今年度の実績値 92

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H25	H26	H27	H28	H29(上期)	H29(通期)
	受診者数(人)	-	27,837	27,797	26,954	25,573	11,271	25,648
電話相談件数(件)	-	14,251	14,745	15,214	14,727	7,285	14,817	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

区分		平成27年度(2015)	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	3カ年平均
収入	使用料収入	0	0	0	0
	事業収入	339,474	319,546	326,356	328,459
	その他	26,898	27,792	28,074	27,588
	指定管理委託料	70,139	79,734	83,446	77,773
	①合計	436,511	427,072	437,876	433,820
支出	維持管理				
	光熱水費	0	0	0	0
	清掃等委託料	0	0	0	0
	土地建物賃料	0	0	0	0
	修繕料	0	0	0	0
	運営				
	人件費	324,864	319,686	325,555	323,368
事業等経費	0	0	0	0	
その他	111,647	107,386	112,321	110,451	
指定管理納付金	0	0	0	0	
②合計	436,511	427,072	437,876	433,820	
純収支(①-②)		0	0	0	0

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H24	H25	H26	H27	H28	H29
市の収入		135,067	108,307	100,997	101,711	95,441	122,080
(内、使用料収入)		0	0	0	0	0	0
市の支出		150,547	126,849	121,246	160,780	111,014	144,342
(内、指定管理委託料)		150,531	126,840	107,043	106,754	100,548	115,708
実質経費(歳出-歳入)		15,480	18,542	20,249	59,069	15,573	22,262

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	365日の清掃に加え、年4回の定期清掃により常に清潔を保っている。また、感染対策の一環として看護師を中心に空いた時間での消毒清掃等を適宜実施している。保守点検はメーカーの推奨に従い、適切に実施している。備品台帳は毎年更新し、市に提出している。施設の修繕については、市と協議し、適切に実施している。古着等を回収し、ウェスとして再利用するなど、環境にも配慮している。	A	館内の衛生面・安全面に常に配慮し、定期的に施設の点検・確認を行い、備品等も適切に管理している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A		A	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	センター長をはじめ、休日夜間の診療に支障がないよう、権限をもった職員を適宜配置している。職員研修は01月を中心に必要に応じて外部研修に参加している。資質向上に取り組んでいる。	A	通常の職員研修だけでなく、職員のスキルアップのための研修を実施している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A	A		
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B	B		
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡簿を各部署に周知。消防法に基づき8月と2月に消防訓練を実施した。	B	市消防訓練も適切に行われており、緊急時の連絡体制を整備し日頃から備えている。
		避難訓練を実施しているか。	B	B		
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	安心して子育てができるように、いつでも受診できる施設であることがサービスの向上につながるため、医療スタッフの定数確保に取り組んでいる。苦情・トラブルに対しては迅速に対応し、職員間での情報共有も進め、再発防止に努めている。	A	利用者からの意見に耳を傾け、より良い事業展開に繋げるよう努力している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		A	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	事業は計画通りに実施した。看護師ミニ講座やニュースレターなどを通じて、不要不急の受診を控え、センターの適正利用を促すよう取り組んだ。	A	効果的に事業展開している。
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A	A		
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書類等は文書分類表に基づき適切に保管している。また、個人情報の取扱いは1分配慮している。ホームページは適宜更新し、センター使用やニュースレターで情報提供を行っている。	B	個人情報については適切に管理されており、情報公開や広報活動も努力している。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B	B		
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A	A		
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	収入が減少する中、経費削減に努めている。会計士による会計監査を年4回受け、適切な経理処理を行っている。	A	会計士による監査を受け、適正に処理している。
経理処理は、適切に行っているか。		A	A			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	夜間や休日の小児の急病時に、一次救急医療を提供することにより、子育て支援や安心できる地域の医療に寄与している。また、看護師ミニ講座など魅力ある事業実施も積極的に実施しており、高く評価する。
総合評価	A

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成30年 3月 6日 ~ 平成30年 3月20日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	利用者からはおおむね満足度の高い回答ではあったが、薬を一日分ではなく、複数日分出してほしい、という意見があった。(詳細は別添参照)	センターは休日夜間の応急深慮所であり、診断を下すことよりも緊急性の有無を見極めることを主目的としており、翌日にはかかりつけ医に行っていたことを原則としている。市民には知識の普及事業等を通して理解を求めるとともに、かかりつけ医を持つことの重要性を伝えていく。
回答者数	460	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
なし	なし
なし	なし